

謝辞

日本の公共図書館において高齢者サービスは確立したものではないということもあり、どのように調査研究をすすめるのかよいのか、迷いながらも議論を重ねました。このようなか、多くの方のご協力とご支援がなければ、この報告書をまとめることはできなかったといっても過言ではありません。

特に、つづき図書館ファン倶楽部代表の若杉隆志さん、同倶楽部事務局長の福富洋一郎さんにはインタビュー調査に応じてくださっただけでなく、高齢者を対象とした図書館サービス利用およびニーズの調査にあたり、多大なるご協力をいただきました。また、株式会社シー・ディー・アイの半田章二さんとともに、同倶楽部のメンバーと図書館長、図書館職員との打ち合わせに参加させていただいたことで、協働を通じて企画が練り上げられていくさまを目の当たりにすることができました。寛大なご理解をくださった横浜市立都筑図書館の三田稔館長と、さまざまにお手配くださった同図書館受入・市民協働・労務事務担当の麻生耕平さんに感謝申し上げます。

また、川崎市立宮前図書館の和田牧子館長の深いご理解のもと、同図書館担当係長の舟田彰さんには、インタビューに応じてくださるだけでなく、高齢者を対象とする調査にあたり多大なるご協力をいただきました。さらに、舟田さんとの図書館における認知症支援についての議論は、本報告書をまとめるうえで、大きな助けとなりました。川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当係長の角野孝一さんには、インタビュー調査に応じてくださり、貴重な福祉行政からの視点をお聞かせくださいました。ありがとうございました。

社会福祉法人日向市社会福祉協議会地域福祉課長の成合進也さんには、インタビューに応じてくださっただけでなく、貴重な資料をご提供いただき、また調査にあたってさまざまにご調整くださいましたことを心より感謝申し上げます。

紙面の都合で個々にお名前をあげることは叶いませんが、超高齢社会における図書館や図書館サービスについて、議論し、アイデアをくださったすべての方に心より感謝申し上げます。(呑海沙織)